

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

独立自尊の社会・世界に貢献する人財の育成を教育目標に、心・知・体を総合的に育成できる新しい教育体系を構築することで、社会への貢献を果たす

売上高経常利益率
7.0%

② 中長期の経営戦略

1. 高校生部門の強化

東進ハイスクール、東進衛星予備校、早稲田塾のネットワーク拡大。生成AIを活用した英作文・プログラミング講座など高度なコンテンツ充実。小中高一貫教育体制を構築

3. スポーツ事業の拡大

2024年12月にイトマンスポーツウェルネスを連結子会社化。幼稚園・保育園との提携、自治体・小中学校受託事業拡大。スイミング以外の体育やシニア向けフィットネス強化

2. 小・中学生部門の拡充

四谷大塚で生徒指導体制整備。2023年1月にヒューマレッジ（木村塾他）を連結子会社化し、幅広い学力層への指導ノウハウをグループに波及

4. 社会人教育の充実

東進デジタルユニバーシティで語学、ITリテラシー、AI習得プログラム提供。リスキリング需要に対応した企業向けカスタマイズIT・DX教育をサポート

③ 対処すべき課題

① 人口減への対応

- 出生率低下による長期的な人口減への対応
- 教育機関全体の在り方自体への大きな影響に備える

② 制度改革と急速なデジタル化対応

- 大学入試制度見直し、英語教育改革、GIGAスクール構想によるICT化への適応
- AIやIoT活用による新たな学習形態とコンテンツ開発の必要性

③ 質の高い教育提供と経営基盤強化

- 校舎体制整備と教務力充実による最適な学習環境の追求
- 効果的な人件費投入と経費削減による安定した収益体質構築

面で使えるポイント

- 東進ハイスクール、四谷大塚、イトマンスイミングスクールなど複数ブランドで幼児から社会人まで一貫教育体系を構築。
- 2024年に生成AIを活用した英作文・プログラミング講座を開講。
- 2023年1月ヒューマレッジ、2024年12月イトマンスポーツウェルネス連結子会社化。

証券コード 9733

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
教育事業を主力とするサービス業企業

主力事業・セグメント

- ・HighSchoolStuden 47.1%
- ・スポーツ法人向けSection 28.4%
- ・Primary・Secondar 21.3%

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率9.3%の安定した収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
642億円営業利益率
9.3%財務健康度
35点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 57.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
892万円

サービス業内 38位/524社

平均年齢
38.3歳

サービス業内 273位/527社

平均勤続
12.0年

サービス業内 95位/527社

女性管理職
12.0%

サービス業内 260位/371社

男性育休
44.4%

サービス業内 257位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: (株)ナガセ【9733】：決算情報

